

第三十六号の三様式（第六条関係）(A4)

定期検査報告書（建築基準法第88条第1項に規定する昇降機等を含む昇降機）
（第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁

様

平成 年 月 日

報告者氏名 印
検査者氏名 印

【1.所有者】

- 【イ.氏名のフリガナ】
- 【ロ.氏名】
- 【ハ.郵便番号】
- 【ニ.住所】
- 【ホ.電話番号】

【2.管理者】

- 【イ.氏名のフリガナ】
- 【ロ.氏名】
- 【ハ.郵便番号】
- 【ニ.住所】
- 【ホ.電話番号】

【3.検査者】

- 【イ.資格者】() 建築士 () 登録第 号
 建築基準適合判定資格者 第 号
 登録昇降機検査資格者講習を終了した者 第 号
- 【ロ.氏名】
- 【ハ.勤務先】
 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
- 【ニ.郵便番号】
- 【ホ.所在地】
- 【ハ.電話番号】

【4.報告対象建築物】

- 【イ.所在地】
- 【ロ.名称のフリガナ】
- 【ハ.名称】
- 【ニ.用途】

【5.報告対象昇降機（建築基準法第88条第1項に規定する昇降機等を含む。）】

- 【イ.検査対象昇降機の台数】(台)うち不適合の指摘があるもの(台)
- 【ロ.指摘の概要】
- 【ハ.改善予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定) 無

| 受付欄 | 特記欄 | 整理番号欄 |
|----------|-----|-------|
| 平成 年 月 日 | | |
| 第 号 | | |
| 係員印 | | |

昇降機(建築基準法第88条第1項に規定する昇降機等を含む。)の状況等

【1. 昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号
【ロ. 確認済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関()
【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号
【ニ. 検査済証交付者】 建築主事 指定確認検査機関()

【2. 検査日】

【イ. 今回の検査】 平成 年 月 日実施
【ロ. 前回の検査】 実施(平成 年 月 日報告) 未実施

【3. 検査者】

【イ. 資格】()建築士()登録第 号
建築基準適合判定資格者 第 号
登録昇降機検査資格者講習を終了した者 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 勤務先】 ()建築士事務所()知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

【4. 保守業者】

【イ. 名称】

【ロ. 郵便番号】

【ハ. 所在地】

【ニ. 電話番号】

【5. 昇降機の概要】(番号)

【イ. 種類】 建築設備 工作物

【ロ. 種別】 エレベーター(斜行) エスカレーター 小荷物専用

【ハ. 用途】 乗用(人荷共用) 寝台用 自動車運搬用 荷物用

【ニ. 常用非常用の別】 常用 非常用

【ホ. 機械室の有無】 有 無

【ハ. 仕様】(電動機の定格容量)(定格速度)(積載量)(定員)(踏段の幅)(勾配)
(kw)(m/min)(kg)(人)(m)(度)

【ト. 製造者名】

【6. 遊戯施設の概要】(番号)

【イ. 固有名称】

【ロ. 一般名称】

【ハ. 仕様】(定員) (定常走行速度又は定常円周速度)
(人) (km/h 又は m/min)

【ニ. 製造者名】

【7. 検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 不適合の指摘あり (既存不適合) 指摘なし

【ロ. 改善予定の有無】 有 (平成 年 月に改善予定) 無

【8. 備考】

(注意)

1. 各面共通関係

印のある欄は記入しないでください。

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2. 第一面関係

報告者又は検査者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

検査者が2以上のときは、代表となる検査者について記入してください。

1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。

3欄について、検査者が2以上のときは、代表の検査者について記入してください。

3欄の「イ」は、検査者の有する資格等について記入してください。検査者が第4条の20第2項第2号に規定する登録昇降機検査資格者等又は建築士法施行規則等の一部を改正する省令(平成16年国土交通省令第67号)による改正前の第4条の20第4項に規定する国土交通大臣が指定する昇降機検査資格者として必要な知識及び技能を修得させるための講習を終了した者である場合は、その旨を証する書類に記載された番号を「登録昇降機検査資格者講習を終了した者」の番号欄に記入してください。

3欄の「ハ」から「ヘ」までは、検査者が法人に勤務している場合に、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、「ハ」に事務所登録番号を併せて記入してください。所在地は、検査者が法人に勤務していないときは、その者の住所を書いてください。

5欄の「イ」は、報告する昇降機(建築基準法第88条第1項に規定する昇降機等を含む。)の台数及び第二面の7欄で指摘された箇所がある昇降機の台数を記入してください。

5欄の「ロ」は、指摘があった昇降機について記入してください。

5欄の「ハ」は、第二面の7欄の「ロ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第二面の7欄の「ロ」で記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。

3. 第二面関係

この書類は、昇降機(建築基準法第88条第1項に規定する昇降機等を含む。)ごとに作成してください。ただし、複数の昇降機について同時に報告する場合には、この書類に記載すべき事項を別紙に明示して添付すれば、この書類を別途提出する必要はありません。

1欄の「イ」及び「ロ」は、直前の確認(建築基準法第87条の2及び同法第88条第1項の規定により準用して適用される同法第6条第1項に規定する確認。以下この様式において同じ。)について、「ハ」及び「ニ」は、直前の完了検査について、それぞれ記入してください。

1欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。

2欄の「イ」は、検査を複数の日にまたがって行ったときは、その最終日の年月日を記入してください。

2欄は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

3欄は、第一面の3欄に準じて記入してください。

4欄は、昇降機(建築基準法第88条第1項に規定する昇降機等を含む。)の維持保全を行う者が3欄の「ハ」の勤務先(検査者に勤務先がないときは、検査者)と異なるときに記入することとし、当該維持保全を行う者が個人の場合は、「ロ」は氏名を、「ホ」は住所を記入してください。

5欄は、報告を昇降機又は建築基準法施行令第138条第2項第1号に規定する工作物について行う場合に記入し、「番号」に報告するものを特定できる番号、記号等を記入してください。

5欄の「イ」は、建築設備である昇降機の場合には「建築設備」のチェックボック

スに、工作物である昇降機の場合には「工作物」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れてください。

5 欄の「ロ」は、「エレベーター」、「エスカレーター」又は「小荷物専用昇降機」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、エレベーターであって階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するものは、併せて「斜行」のチェックボックスにそれぞれ「レ」マークを入れてください。

5 欄の「ハ」は、「ロ」で「エレベーター」の場合に、「乗用」、「寝台用」、「自動車運搬用」又は「荷物用」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて、「乗用」であって「人荷共用」であるものは、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「荷物用」とは、エレベーターのうち、乗用、寝台用又は自動車運搬用以外のものをいいます。

5 欄の「ニ」及び「ホ」は、エレベーターについてのみ、「ヘ」の「電動機の定格容量」は、駆動装置が電動機である場合のみ、「定員」は常用エレベーターについてのみ、「踏段の幅」はエスカレーターについてのみ、「勾配」はエスカレーター及びエレベーターであって階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するエレベーターについてのみそれぞれ記入してください。

6 欄は、報告を遊戯施設について行う場合に記入し、「番号」に報告するものを特定できる番号、記号等を記入してください。

6 欄の「ロ」は、建築基準法施行令第 138 条第 2 項各号に掲げる名称の例により記入してください。

6 欄の「ハ」の「定員」は、複数の客席部分が連結されて走行するものについては、当該客席部分の定員の合計を記入してください。「定常走行速度又は定常円周速度」は、当該遊戯施設が走行をするものである場合には定常走行速度を km/h で、回転をするものである場合には定常円周速度を m/min で記入してください。

7 欄の「イ」は、建築基準法又はこれに基づく命令に規定する基準に適合しないことが指摘された箇所があるときは、「不適合の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第 3 条第 2 項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

7 欄の「イ」の「不適合の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときを除く。）は、指摘の内容を別紙に記載して添え、当該指摘に係る項目について改善予定があるときは「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、具体的な改善内容を定めている場合は別紙に記入し添えてください。

ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、8 欄又は別紙に記載して添えてください。